

神奈川県ペスト病況報告

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38650

2. Wofring, Untersuchungen über die Drüsen der Bindehaut des Auges. Medicinisches Centralblatt, No. 54. 1872.
3. Ciaccio G., über den Bau der Bindehaut des menschlichen Auges. Moleschotts Untersuchung XI. 1874.
4. Waldayer, Drüsen des Augenhides Graefes' Handbuch I. Bd. I. thl. S. 238. 1875.
5. Tenson, Les glandes lacrymales conjunctivales. cah. 3. Thèse de la faculté de médecine de paris 1892.
6. Mawro, Adenoma celled glandole tarso conjunctivali di Ciaccio. Rivist. internat. di medic. e chir. IV. No. 4. P. 209.
7. Runnschewitzsch, zur Onkologie der Lider. Monatsblätter f. Augenheilkunde. 1890. October.

○神奈川縣ペスト病況報告

特別會員
醫學士 野田 忠 廣

(京東)

流行ノ狀況、神奈川縣横濱市ニ於テハ客年九月下旬以來不幸ニシテペスト病ノ侵襲ヲ蒙リ初メ海岸五丁目二十番地ナル一小區域内ニ限局シテ月餘間ニ七人ノ眞症患者ヲ發生シタリ爾來一時終熄ノ觀ヲ呈シ數月間患者ノ現出ナカリシト雖モ鼠族間ニ於ケル病毒ハ海岸通、伊勢町、戸部町三吉町等ニ蔓延シ遂ニ本年五月中旬以降再ヒ毎月數人乃至十數人ノ患者ヲ出シ初發以來本月二十日迄既ニ四十三人ノ多キニ達セリ

三十五年神奈川縣ペスト患者表

眼
險
縱
斷

- A 管狀葡萄狀腺
B 同上排泄管縱斷
C 結膜
D 血管



眼 險 縱 斷

- A 管 狀 葡 萄 狀 腺
- B 同 上 排 泄 管 縱 斷
- C 結 膜
- D 血 管



三十六年全上

番號	發病月日	轉歸月日	死亡	治癒	住	所	職業	姓名	年	備考
一	九月廿日	十月七日			橫濱市海岸通五丁目廿番地佐々木石右衛門長女		無職	佐々木シナ	六	前患家佐々木方ニテ發病
二	十月一日	全	六日		彌樹郡子安村三千三百十八番地持丸卯之吉兄		人足業	持丸彌吉	六	
三	全	四日	全	八日	橫濱市海岸通五丁目廿番地砂川斧三郎方		人足業	木村德次郎	六	
四	全	五日	全	十日	全海岸通五丁目廿番地東井吉松方		雇人	山口甚吉	六	
五	全	七日			全三吉町一丁目二番地		船乘業	山田兼吉	四	臨床症候ベストニ酷似セルモベスト菌ヲ檢出ス
六	全	全	全	全	全海岸通五丁目廿番地吉松長男		人足ノ子	田中寅之助	六	海岸五ノ廿ノ居住者ニシテ隔離中發病
七	全	全	全	全	神奈川舊砲臺上隔離所第五區乙室		人足	中田寅吉	六	
八	全	全	全	全	橫濱市海岸通五丁目廿番地		船乘業	齋藤三吉	六	

九	五月廿日	五月廿日			橫濱市西戶部町千三百三十八番地		紙漉業	村松善一	三	
十	全	全	全	全	全戶部町四丁目百卅三番地		車夫ノ子	瀨崎虎吉	七	
十一	全	全	全	全	全三吉町一丁目十番地		釣船業ノ子	澁谷健太郎	二〇	
十二	全	全	全	全	全元濱町二丁目三番地小林安治方		同居	大和田コマ	三	
十三	六月七日	六月十日			全三吉町一丁目七番地新之加二男		人足ノ子	山口松太郎	四	
十四	全	全			七月五日 全扇町三丁目廿九番地		塗物職	小山キセ	四	

(原著)

(原著)

十五全	廿六全	廿七全	廿八全	廿九全	三十全	卅一全
廿日六月六日						
廿日六月六日						
廿日六月六日						
廿日六月六日						
廿日六月六日						
廿日六月六日						
廿日六月六日						
廿日六月六日						
廿日六月六日						

九月十二日

全根岸町字麥田三千八百四十五番地青木傳七二男	全青木傳七雇人	全西戸部千〇〇六番地	全同町同番地通信書記石村政善長	全同町八百〇二番地横濱水道工夫	石井庄太郎内縁ノ妻	全南太田町千八八二番地戸牧太郎方雇人	全中村町千三四七番地泰助孫	全北方町八百四十四番地田中豊三郎長女	全神奈川町字浦島五百七十五番地	全同町同番地山崎留吉内縁ノ妻	全同町同番地木村森藏妻	全根岸町三千五七七番地万里小路又憲方雇人	全松影町一丁目卅七番地松本勝次郎女	全同町同番地岡田米藏二女	全同町同番地岡田米藏長女	全同町同番地小島ワカ方	全同町同番地岡田米藏長男
------------------------	---------	------------	-----------------	-----------------	-----------	--------------------	---------------	--------------------	-----------------	----------------	-------------	----------------------	-------------------	--------------	--------------	-------------	--------------

雜穀及乾物商ノ子	雇人	足袋縫	通信書記ノ女	工夫ノ妻	牛乳搾取業	鳶職孫	青物商ノ女	日雇稼	日雇妻	漁師妻	雇人	湯屋ノ女	理髮職ノ女	全上	工夫	理髮職ノ子
青木昌次郎	近藤カチ	近藤マス	石村ソノ	安田キン	鈴木榮吉	福田一男	田中イ子	山崎留吉	野口タケ	木村アキ	肥田ムメ	松本ハマ	岡田コフ	岡田イシ	河合音次郎	岡田源次郎
九	壹	五	七	二	二	三	三	三	六	壹	七	七	二	三	四	八

臨床症候ベス
トニ酷似セル
モベスト菌ヲ
檢出セズ

卅二	九月三日	十月一日	全同町同番地松本勝次郎三女	湯屋ノ女	松本ハナ	三
卅三	全 酉日	九月酉日	全壽町二丁目	人 足	齊藤 豊吉	六
卅四	全	全 五日	久良岐郡屏風浦村字森内山定太郎 内縁ノ妻	漁師ノ女	榊 ミチ子	三
卅五	全		横濱市松影町一丁目卅一番地	鑄掛職	内山定太郎	四
卅六	十月三日	十月三日	全吉濱町十番地觀輔内縁妻高橋ク ニノ私生兒	雇人口入 業ノ女	高橋 觀枝	二
卅七	全 四日	全 八日	全同上金子觀輔方同居	前患者ノ 子守	高橋 トク	四
卅八	全 六日	全 三日	全松影町二丁目卅七番地與三松ノ妻	眞 商	清水 ウタ	七
卅九	全 酉日	全 六日	全同町一丁目卅五番地大貫安兵衛 方雇人	縫泊職	上野 仙太郎	六
四十	全 五日		全吉濱町十番地	雇 稼	吉田 テツ	五
四十一	全 三日	十月九日	神奈川町字浦島百四十一番地	鐵道驛夫	倉本 金次郎	元
四十二	全 五日	全 六日	全上金次郎長男	同	彦太郎	三
四十三	全 七日	全 九日	全 長女	同	ソノ	五

松影町ニテ發病

患者ノ初發シタル海岸五丁目廿番地ハ日本波止場ニ接續セル半島狀ノ埋立地ニシテ地質ハ所謂土炭塊ヨリ成ル同地域ハ東洋瀛船會社稅關見張所横濱救濟會蓬萊屋旅舎及ヒ倉庫十一棟其他二三ノ中等家屋ヲ除クノ外ハ悉ク不潔狹隘ナル棟割長屋ニシテ船舶ニ出入スル勞働人夫等約八百人ノ占居セル所ナリ戸部方面ノ發病地タル戸部四丁目ハ掃部坂ノ下ニ位シ土

地卑濕ニシテ下水ノ排除完カラス同西戸部ハ紙漉業者ノ群居スル部落ニシテ不潔ナル糞糞
家屋多ク其他三吉町、松影町、吉濱町ノ如キ毎ニ傳染病ノ發生地ナルヲ以テベストニ對スルモ
亦流行ニ好適タルヲ免レス殊ニ一面ノ埋立地ニシテ甚シキハ數寸ニシテ土炭岩ニ達スルア
リ岩ノ間際ハ鼠族ノ交通自在ニシテ屢々地下ニ鼠巢ヲ發見シタリ

患者ノ職業ハ勞働業其ノ他下級ノ業ニ從事スルモノ多ク病症ハ總テ腺腫ベストニシテ患者
四十三人中男二十二、女十一、人内死亡三十四、人治愈五人、現患四人アリ、年齡ニ關シテ八十
年以下十三人、十年以上三十年以下十七人ニノ即チ小兒若ハ少壯者全致ノ三分ノ二ヲ占ム
病毒侵入ノ系統及傳播ノ經路ニ關シテハ第一患者及其ノ附近ノ家屋及ヒ綿花倉庫内ニ於テ
有菌鼠十頭、有菌ノ疑アル斃鼠十一頭ヲ發見シタル事實並ニ當該地域ニ於テ患者發生前著シ
ク鼠族ノ減少ヲ感シ一部ノ住民ハ以テ火災ノ前兆トナシ頗ル危懼ノ念ヲ懷キ居リシコトア
リタル等ニ依テ考フレハ既ニ一二ヶ月前若ハ其以前ニ病毒ノ侵襲ヲ蒙リタルモノト認メサ
ルヲ得ス然ラハ初發患者以外ニ於テ裏面ニ他ノ病名ノ下ニ死亡シタルモノアリテ病毒ヲ流
布シツ、アラサリシカ本問ニ就テハ横濱全市既往四ヶ年間毎月ノ急性病死亡數ヲ病名ヲ別
テ對照調査シタルニ特ニ注意スヘキ差異アルヲ認メス又客年中海外又ハ台灣ノ有病地ヨリ
横濱ニ入港シタル船舶ノ檢疫成績ヲ參照スルモ患者上陸ノ疑アル事跡更ニ之レアルナシ惟
フニ病毒侵入ノ原因ハ海外有病地ヨリ病毒ニ汚染シタル物件ノ陸揚ケ又ハ他ノ貨物ト共ニ
有菌鼠ノ上陸スルアリテ該地域鼠族間ニ先ツ流行ヲ呈スルニ至リタルモノナルヘシ

子安村ニ於ケル第二患者ハ第一患家佐々木方ノ人夫ニシテ同家ニ於テ既ニ身躰違和ヲ感シ
 勞働ニ耐ヘサルノ故ヲ以テ該村親戚方ニ歸省シタルモノナリ三吉町ノ第四患者ハ船舶ニ出
 入スル勞働人夫ニシテ臨床症候最モ「ペスト」ニ酷似シタルヲ以テ疑似症トシテ取扱ヒタルモ
 遂ニ「ペスト」菌ヲ檢出スルニ至ラサリキ其ノ他發病地域以外ナル同町十九番地及日本郵船株
 式會社支店構内ニ於テ有菌鼠ヲ發見シタルハ發病地ノ附近ナルヲ以テ同地ヨリノ傳播ヲ以
 テ説明シ得ヘシ但シ會社構内ノ如キハ海外有病地ニ交通スル船舶ノ貨物集散場ナレハ更ニ
 他ノ系統ニ依リテ病毒ヲ輸入シタルモ亦知ルヘカラス

叙上ノ如ク病毒侵入ノ系統確定シ難ク且ツ鼠族間ノ流行久シキニ亘リ從テ他方面ニ病毒潛
 伏ノ疑アリト認メタルヲ以テ同時ニ全市及ヒ其ノ附近ノ注意區域ニ對シ警戒ヲ嚴行シタル
 果シテ戸部方面ニ於テハ客年十二月中旬伊勢町塵芥箱内ヨリ一頭ノ有菌鼠ヲ發見シ次テ本
 年一月初旬出所不明ノ有菌鼠三頭アリ爾后米穀青物古物等ノ商家其ノ他下水溝内塵芥捨場
 又ハ路上等ニ續出スルニ至リタリ三吉町吉濱町ノ如キモ亦患者發生以前ニ於テ有菌鼠若ハ
 其ノ疑アル斃鼠ノ發見鮮カラス客年十月以後ノ驅鼠中ペスト菌ヲ檢出シタルモノ百〇七頭
 内斃鼠五十八頭捕鼠四十八頭ニシテ其發見ノ場所左表ノ如シ

明治三十五年橫濱市有菌鼠表

發見月日	檢定月日	捕鼠	斃鼠	計	發見場所

全三十六年全市有菌鼠表

十月七日	十月七日			一	一	海岸通五丁目廿番地松下倉庫内
全 七 日	全 七 日			一	一	全所佐々木石右衛門方
全 八 日	全 八 日			一	一	全所河西忠藏方
全 十九日	全 十九日			一	一	全所道路ニ於テ
全 廿二日	全 廿二日			一	一	全所山宮繁造方
全 廿六日	全 廿六日		一	一	一	全所本間文藏方
全 廿七日	全 廿七日			一	一	全所五丁目十九番地
全 廿八日	全 廿八日			一	一	全所五丁目廿番地
全 卅 日	全 卅 日			一	一	全所宇田川エツ方
十一月四日	十一月十二日			一	一	全所高橋友吉方
三月十九日	三月廿六日			一	一	日本郵船會社橫濱支店倉庫
全	一月七日			一	一	伊勢町三丁目六十九番地塵芥箱内
三月廿六日	全 七 日			一	一	野毛町三丁目百卅番地柳原倉吉方
計		四	九	一三		

發見月日 檢定月日 捕鼠 斃鼠 計 發見場所

全 廿五日	全 廿四日	全 廿四日	全 廿四日	全 廿三日	全 廿四日	全 廿四日	全 廿三日	全 廿三日	全 十八日	全 十八日	全 十八日	全 十六日	全 十日	全 七日	一月六日
全 卅一日	全 卅日	全 卅日	全 卅日	全 廿九日	全 廿九日	全 廿九日	全 廿八日	全 廿八日	全 廿八日	全 廿六日	全 廿四日	全 廿日	全 十六日	全 十四日	一月十二日
					一			一	一			一	一	一	一
三	一	二	一	一		五	一			一					
三 全所白米商鈴木清助方	一 全所下村小太郎方	二 全所小泉惣兵衛方	一 伊勢町三丁目七十一番地中野清助方	一 內田町六丁目六番地西洋家具製造業遠藤要晴方	一 全町吉川竹次郎方	五 全町三丁目七十一番地白米商鈴木清助方納屋	一 伊勢町四丁目八十八番地銀行員都筑成一	一 加賀町警察署 伊勢佐木町警察署 兩部内ノ内ナルモ出所不明	一 全所古物商錦織虎太郎方	一 全町三丁目七十一番地煙草商下村小太郎方	一 全町四丁目八十六番地白米商永島安太郎方	一 伊勢町三丁目七十一番地荒物商高野伊太郎方	一 全	一 全	一 戶部警察署部内(出所不明)

(原著)

一月廿五日	一月卅一日	四	四	一所荒物商高野伊太郎方
全 廿八日	二月三日	一	一	一所四丁目六十六番地白米商水島安太郎方
全 三十日	全 九日	一	一	一所橫濱會館同市役所稅務掛分室ニ於テ捕獲人全所使了松崎貞吉
二月九日	全 十六日	一	一	一所花咲町八丁目八十五番地煉瓦職北原長吉方
全 十一日	全 廿四日	一	一	一所海岸通四丁目日本郵船會社橫濱支店構内塵芥箱内
三月二日	三月九日	一	一	一所伊勢町四丁目共同塵芥函内ヨリ拾ヒ取りタルモノ
全 十二日	全 十八日	一	一	一所海岸通四丁目十九番地安部幸兵衛倉庫
四月一日	四月六日	一	一	一所宮崎町紅葉坂下水内ニ於テ
全 二日	全 九日	一	一	一所長者町二丁目廿五番地指物業成田多次郎方
全 九日	全 十六日	一	一	一所戶部町三丁目下水内ニ於テ
全 十一日	全 廿日	一	一	一所富士見町道路ニ於テ
全 二十日	全 廿六日	一	一	一所西戶部七百廿二番地青物商長井兼吉方
全 三十日	五月七日	一	一	一所戶部町四丁目百卅三番地海草向小泉孫三郎方
五月一日	全 七日	一	一	一所西戶部千三百六十二番地市吏員會根友次方
全 三日	全 九日	一	一	一所戶部町一丁目十五番地靴製造業小川増藏方
全 三日	全 九日	一	一	一所全町四丁目百三十三番地縫泊業小林新吉方
全 八日	全 十四日	一	一	一所伊勢町五丁目九十六番地小使内田磯五郎方

(原著)

全 二日	全 六日	全 六日	全 十日	全 十日	全 十日	全 九日	全 十八日	全 二十日	七月三日	全 十一日	全 十三日	九月九日	全 十日	全 十日	全 十日	全 十一日	全 十六日
全 二日	全 十日	全 六日	全 十五日	全 十六日	全 九日	全 廿二日	全 廿九日	七月十一日	全 廿日	全 二十日	九月十一日	全 十一日	全 十一日	全 十一日	全 十一日	全 十七日	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
全所(全上)笹野商店借家二階ニ於テ捕獲	橫濱市港橋附近ノ塵芥揚卸場河岸	尾上町四丁目道路ニテ通行人拾得	伊勢町三丁目道路ニテ通行人拾得	羽衣町辨天社内裏塵芥溜内	戸部町二丁目山崎彌五郎方塵芥溜	千歳町十二番地彫刻師金子再次郎方	全町二丁目十三番町空家内	吉濱町十番地無職業鈴木キン方	長島町三丁目廿七番地車夫高山傳之助方流シ下ニテ	蓬萊町三丁目十三番地土木受負業原木仙之助外二人共同用芥溜	松影町一丁目卅六番地米穀商黒部與八方	全町全人方	吉濱町十番地酒類小賣商安西宗之助方	吉濱町菓子小賣商大西兵太郎方	松影町一丁目卅七番地黒部與八方	北方町六百十一番地共同塵芥箱内	

十月四日	十月十日	一	一	海岸通日本郵船會社橫濱支店構内
全 十七日	全 十七日	一	一	松影町一丁目卅七番地煙草商清水與三松方
全 十三日	全 十九日	三	三	伊勢佐木町、加賀町、水上各警察署管内
全 十四日	全 十九日	一	一	神奈川警察署管内
全 八日	全 十二日	一	一	松影町三丁目
全 十日	全 十二日	一	一	壽町警察署管内
計		四五	四九	九四

以上ハ細菌検査ノ結果ベスト菌ヲ確認シタルモノ、ミナリ其ノ他乾鼠腐敗等ノ爲メ検査スルコト能ハサル斃鼠一万頭中實際有菌タリシモノ蓋シ千ヲ以テ數フヘシ
 前述ノ狀況ナルヲ以テ本年五月以降患者ノ再發ヲ來シタルハ他ニ系統ヲ求ムルヲ要セス殆
 ント總テ當該地域鼠族間ノ流行ニ歸因シタルモノトス即チ戸部町四丁目ノ如キハ數ヶ月以
 來其附近ニ有菌鼠續出シ患者發生ノ當時ハ遮斷區域内ニ於テ有菌鼠二頭及ヒ乾固又ハ腐敗
 シタル斃鼠四頭ヲ發見シ、西戸部發病部落ハ市内ノ紙屑集合場ニシテ有菌鼠四頭及ヒ細菌檢
 査ニ適セサル斃鼠四十八頭ヲ搜索シ得タリ殊ニ其ノ大多數ノ所在藁屋根中ナリシハ一事ハ
 斃鼠搜索上及消毒施行上最モ注意スヘキ要件ナリト信ス浦島町ハ漁民及新平民ノ住家多ク
 又患家附近ニ古物襪等ヲ取扱フ者アリテ有菌ノ疑アル斃鼠ハ患家ニ於テ四頭其附近ニ於

テ廿三頭ニ及ヘリ其ノ他根岸町字麥田患家雜穀小賣商方ニテ消毒施行ノ際斃鼠四十餘頭ヲ發見シ又松影町吉濱町ノ流行地内一米商方ニ於テ余等出張ノ當日斃鼠六十一頭(内四頭有菌他ノ多クハ乾固腐敗ノ爲検査ニ適セス)其後續テ斃鼠廿五頭(内八頭有菌)ヲ發見シタルカ如キハ蓋シ空所珍事ニシテ亦以テ如何ニ病毒ノ鼠族間ニ蔓延シツ、アリタルカヲ窺フニ足ルヘシ

此ノ如ク患者ノ發生ハ多クハ鼠族間ノ前驅流行ヲ以テ説明シ得ヘシト雖モ一有病地域ヨリ比較的遠隔セル地ニ傳播シタル經路ニ至リテハ判明ナラサルモノアリ又第廿六患者ノ如ク其ノ雇主ノ屢々入港船舶ニ出入セシコトアルノ外有菌若ハ其ノ疑アル斃鼠ノ現出ナク又他ニ傳染經路ノ求ムヘキモノナキアリ翻テ海外有病地ノ狀況ヲ觀察スルニ孟買、香港等ノベスト流行ハ依然猖獗ナルノミナラス牛莊ニ於ケル流行モ亦甚タ熾ナルモノ、如シ而シテ右等流行地ヨリ橫濱ニ入港スル船舶ハ毎月五十隻ヲ下ラサルノ多數ナルヲ以テ本年一月以降海港檢疫上消毒停船ノ處分ヲ行ヒタル鹿兒島丸外三隻以外ニ或ハ患死者ナクシテ病毒ニ汚染シタル船舶ノ入港全ク之レ無キヲ保スヘカラス彼ノ日本郵船株式會社支店構内ニ於テ數月ノ間歌ヲ以テ三タヒ有菌鼠ヲ發見シタルカ如キ亦這般ノ關係アルヲ疑ハシムルニ足ラン

豫防措置 客年海通岸流行地ニ於テハ病毒蔓延ノ區域該理立地一帶ニ亘レリト認メタルヲ以テ縣當局者ハ傳染病豫防法第十九條第二ニ依リ全市百六十七頭ニ對シ交通遮斷ヲ命シ區域ノ周圍ニハ高六尺余ノ亞鉛板ヲ繞ラシテ鼠族ノ遁逸ニ備ヘ尙石懸間ノ孔隙ハコンクリート

ヲ以テ填充セシメ次テ縣費ヲ以テ「バラック」九棟ヲ神奈川舊砲台上ニ建設シ人民ノ等級ニ應シテ之ヲ五區ニ分チ區域内ノ健康者千〇十八人ヲ同所ニ隔離シ内自活シ能ハサル者約八百人ニ對シテハ救恤ヲ施シタリ但シ患家ノ家族ハ橫濱市隔離所ニ收容シ又一時財産管理人トシテ八十八人ヲ區域内ニ停メタルモ後之ヲ砲台上ノ隔離所ニ收容セリ

先是縣下一般ニペスト疑似症ニ對シテ傳染病豫防法ノ全部ヲ適用シ鼠ノ驅除其ノ他豫防上ノ注意ヲ命シ橫濱市ニ對シテハ特ニ死躰檢案ヲ施行シ又買收法及抽籤的懸賞法ニ依リテ生鼠ノ捕獲、斃鼠ノ搜索ヲ獎勵セル外發病地域ニ隣接セル區域ハ豫防區域ト命名シ驅鼠の消毒方法、健康診斷等遮斷區域ニ準シ尙全市ノ不潔部落戶數一万余(人口五万余)ヲ以テ注意區域ト定メ檢病診查ヲ勵行シ且ツ驅鼠的清潔方法ヲ施行セシムルコトトナセリ以上ノ死躰檢案、健康診斷、檢病診查、細菌檢査等ハ當時檢疫官、三十四名醫師タル檢疫委員十七名市醫十名及警察官數十名之ニ從事シタリ

遮斷區域内ノ消毒方法ニ關シテハ住民ヲ隔離所ニ收容スルニ先チテ携帶品ト共ニ港務部附屬長濱消毒所ニ送致シテ成規ノ消毒ヲ行ヒ、家財中病毒汚染ノ疑ナキモノ及ヒ消毒既濟ノ物品ハ之ヲ特設ノ物品保管所ニ藏セシメ而シテ家屋ノ消毒ニ着手セントシタリシガ其大多數ハ勞働人夫ノ住居ニシテ不潔汚穢ヲ極メ完全ナル消毒ヲ施行センニハ建造物ヲ取崩シテ燒却スルニアラサレハ病毒ノ絶滅ヲ期シ能ハスト認メタルヲ以テ縣市當局者ハ家主ニ交渉シ評價ノ價格ニ割増ヲ附シテ家屋建坪總數千五百八坪余ヲ買収シ藥品消毒ヲ行ヒ得ヘキ少數

ノ家屋及倉庫ヲ除クノ外ハ之ヲ燒却スルコトニ決定シ先ツ可燒家屋ヲ昇汞水ヲ以テ沽ホシ調査上必要ナルヲ以テ斃鼠ノ搜索ヲ行ヒタル後之ヲ取崩シ消防組ヲシテ斷ヘス附近ヲ警戒セシメツ、四日ニシテ之ヲ完了シ隔離所内ノ千有余人ニ對シテハ相當ノ立退料ヲ給シテ法定期間滿了ノ後之ヲ解放シタルモ「バラック」五棟ニハ當分ノ内隔離解除後ニ於ケル窮民ノ居住ヲ許可シ一時市ニ於テ救恤ヲ續繼セリ

爾後戸部部内ニ於テハ有菌鼠ノ發見相踵クヲ以テ襪、古綿、古紙、古着等ノ搬出ヲ停止シ一般ニ驅鼠の清潔方法ヲ施行セシメ有菌鼠アリタル家及其附近ハ毎ニ豫防區域ト定メテ特ニ消毒方法及健康診斷ヲ嚴行シ一面ニ於テハ廣ク殺鼠劑ヲ配付シ又衛生講話其他ノ手段ニ依リ市民ヲ鼓舞獎勵スル所アリシト雖當時既ニ數月間患者ノ發生ナキヲ以テ市民ノ熱心漸次冷靜ニ傾キ毎日ノ驅鼠數ノ如キ僅ニ二百頭乃至五百頭ニ過キス加之驅鼠の消毒ノ施行ヲ嫌忌シ有菌ノ疑アル斃鼠ヲ諸所ニ投棄シタル者鮮カラス如此シテ既ニ滋蔓シタル病毒ノ根底益々深キヲ加ヘ遂ニ本年五月以降戸部町四丁目、西戸部、三吉町等ニ第二期流行ノ緒ヲ開クニ至レリ茲テ於テ縣市當局者ハ全市一般ニ特定機關ヲ以テ驅鼠の清潔方法ヲ施行シ尙一定區域ニ對シテハ特ニ驅鼠の消毒方法ヲ決行スルノ必要ヲ認メ去五月消毒隊五十組一組ハ人夫六人、大工二人、警察官、市吏員各一人ヨリ成ルヲ組織シ之ヲ五分隊ニ分チ一分隊ヲ更ニ分チテ十組ト爲シ各長ヲ置キテ指揮監督ヲ掌ラシメ先ツ戸部方面及三吉町附近合計六千八百五十八戸ニ對シテハ嚴密ナル消毒方法ヲ施行シ同時ニ斃鼠千九十七頭ヲ搜索シ又生鼠千四百八頭

獲ヲタリ其ノ他全市一般ノ清潔施行ニ際シテハ斃鼠二千二百五頭及生鼠二千九百四十八頭ヲ驅除シ得約二ヶ月余ニシテ一旦完結ヲ告ケタリ、松影町、吉濱町附近千三百戸ノ驅鼠的消毒ハ本月廿日迄ニ七百戸ヲ了リ其ノ余ハ目下施行中ニ屬ス

患者發生地域ニ對スル一般ノ増置ハ鼠族ノ交通アリト認ムル十數戸若ハ數十戸ノ周圍ニ亞鉛板ヲ繞ラシテ交通ヲ遮斷シ患者ハ市立万治病院ニ送致シ遮斷區域内ノ住民ハ市立隔離所(横濱消毒所内隔離室、万治病院構内新設隔離所及ヒ舊神奈川傳染病院)ニ收容シテ日々健康診斷ヲ行ヒ區域内ニハ二三日間殺鼠劑及ヒ捕鼠器ヲ配置シタル後消毒施行ト同時ニ屋根羽目板ヲ剝離シ木造下水ヲ發掘シ又ハ流下、床下、等ニ就テ斃鼠ノ搜索、生鼠ノ捕獲ヲ勉メ病毒汚染若ハ其ノ疑アル物品ハ市立消毒所ニ送致シ而シテ藥品消毒ニ比シテ廉價ナル家屋又ハ藁屋根ノ如キハ相當ノ補償ヲ給シテ之ヲ燒却セリ、本年五月以後發病地域内ニテ燒却ニ付シタルハ戸部町四丁目ニ於テ四棟十戸、西戸部ニ於テ一棟一戸及ヒ藁屋根十五棟浦島町ニ於テ一棟四戸及ヒ藁屋根若干棟ナリ其ノ他第卅一患者ノ宿泊シタル故ヲ以テ橋樹郡大綱村字大豆戸ニ於テ斃鼠ノ有無、病毒汚染ノ程度如何ヲ顧ミス直ニ四戸ヲ燒却シタルカ如キハ村民ノ早計ニ出テタルモノトス

ペスト豫防上最肝要ナル鼠驅除ノ數ハ患者再發後僅ニ増加ノ傾アリト雖モ未タ以テ市民ノ熱誠ヲ表スルニ足ラサルヲ以テ當局者ハ衛生組合役員ヲ召集シテ之ヲ督勵シ又ハ衛生講話會ヲ諸所ニ開設シテ防疫上ノ注意ヲ喚起シ特ニ不潔ナル部落細民ノ居住地域及ヒ雜穀、濫隣

古綿類ノ商店附近等ニハ日々殺鼠劑一万个以上及ヒ裝置シタル捕鼠器數千ヲ配置シテ生鼠ノ驅除ニ努メツ、アリ、又病毒蔓延上至大ノ關係アル斃鼠ノ搜索ハ消毒隊五十組ヲシテ更ニ全市内ノ注意區域一万五千戸ニ對シテ消毒施行ト共ニ之ヲ嚴行セント定メタリ

其他死躰檢案、細菌檢査、健康診斷、檢病診査ハ目下檢疫官、檢疫委員合計三十五名及警察官數十名ニテ之ヲ擔當シ尙ホ横濱、平沼ノ二停車場ニ於ケル汽車乗客及ヒ海岸ニ於ケル乗船旅客ノ健康ニ注意セシメ、又病系調査係ヲ設ケテ系統調査ト共ニ諸方面ヲ巡視セシメツ、アリ

客年初發以來毎月ノ豫防事務成績ハ別表ノ如シ

豫防費 縣ノ支出ハ前年度以降合計金六万〇三百圓余内、バラック九棟ノ建築費金二万五百五十圓、救恤費約金八千圓、諸手當金一万八千圓、其ノ他備品費、旅費、雜費、消耗品費等ナリ、市ニ於テハ既ニ金拾五万六千圓余ヲ支出シ、其ノ主ナル費途ハ家屋燒却費、居民立退料等約金六万圓、驅鼠的消毒方法施行費金五万三千圓、諸手當金一万八千圓、隔離所建築費金九千七百圓、其ノ他救恤費、備品費、雜費等ヨリ尙目下金七万九千圓許ノ豫算ヲ求メ注意區域全部ノ驅鼠的消毒ノ施行及ヒ消毒所ノ改良等ニ資セント内定セリ

横濱市ニ於ケルペスト病況並ニ豫防措置ノ概要前述ノ如シ、今ニ於テ完全ナル豫防方法ヲ講スルニアラサレハ危害ノ及フ處測リ知ルヘカラサルモノアルヲ以テ益々市民ヲ督勵シテ「ペスト」流行ノ素因タル生鼠ノ驅除、病毒ノ淵源タル斃鼠ノ根絶ニ努メシメ、又漸次不潔家屋ノ改善及ヒ倉庫ハ勿論一般住家ニ對シテ鼠族侵入ノ防禦設備ヲ勸誘シ、他ノ一面ニ於テハ海港檢

疫ノ周密ヲ期シ又港内ニ於ケル船鼠ノ驅除ヲ嚴行セシムルト共ニ其ノ上陸ヲ警戒スル等銳意防疫方策ヲ講シ以テ國家百年ノ禍根タル病毒ノ絶滅ヲ圖ラサルヘカラス

明治三十六年十月廿一日

横濱市驅鼠數及細菌檢査成績表

年月日	買收數	其他ノ數	合計	有菌檢査		中檢査		腐敗檢査		其他	合計
				無菌	計	計	乾固	赤子			
三十五年十月	五四、〇三五	三七	五四、〇三五	七二	四六八	一四	四九	五三、四九九	一九三	五三、九七七	
十一月	三三、九五七	五	三三、九五七	一	四四〇	四	三七	三三、三九〇	八三	三四、〇六五	
十二月	五、九四二	二四	五、九四二	一	六九五	三	三七	五、〇〇五	六	五、九六〇	
三十五年十一月	六、〇三三	一八一	六、〇三三	一〇	一一八	三	三	二三四	六	五、五九九	
一三十五年十一月	一〇、八五〇	九八〇	一〇、八五〇	一九	二一八	二〇	四七	二三四	六九	一〇、八二二	
二月	一四、六九六	一〇、七四	一四、六九六	一三	一六三	二七	七九	二、五四一	九九九	一〇、一〇二	
三月	一五、四七六	二二四	一五、四七六	二	一〇、一四三	一八七	五四七	三、四〇〇	七四	一三、五四三	
四月	二四、三九八	三三二	二四、三九八	三	九、八〇〇	一〇三	三	四、三七	一四五	一四、一二七	
五月	二四、三九八	三三二	二四、三九八	二	七九	二九	七四	七、五四五	二〇三	二二、三九二	

三十五年 十月	年月日	神奈川縣郡部死体檢案表	合計	九	八	七	六	五	四	三	二	一
			同	月	月	月	月	月	月	月	月	月
女	男		同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二	三	腦膜炎	二六 二九〇	三九	四七	四四	四二	三三	二五〇	一六五	九八	一六八
一	一	肺炎	一三 一三五	八八	〇九	七三	四八	三八	〇三	五八	六〇	〇三
一	一	肋膜炎	二五 一六	一	一	三	五	三	二	三	二	二
一	二	脚氣衝心	六八	三三	三四	六六	六三	一五	三二	一	一	一
一	一	中卒	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	心臟麻痺	〇八	一	二	三	二	一	二	一	一	一
一	一	リマヤ	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	丹毒	四三	一	一	一	一	一	一	一	二	一
一	一	腺毒症	一四	一	一	一	一	一	一	一	二	一
一	一	敗血症	一三	二	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	梅毒	二七 二二	五	四	二	一	五	三	四	一	三
一	一	便秘毒	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	腺腫	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	腺炎	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	筋肉炎	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	其他急性病	九八 九七	一三	一三	一四	一三	一〇	一八	〇九	一六	一三
二	五	計	一、五七〇 一、六七五	四一四	二一〇	二四三	一九〇	一五八	一七二	一四二	一五七	一〇三

年月日	檢診		檢診ヲ要スヘキ		檢診ヲ行ヒタル		不在ニテ檢診セザル		檢診ニヨリ發見シタル患者		檢診ニ從事シタル		
	町	村	戸	人口	戸	人口	戸	人口	ト	疑似	注意	醫師	巡查
三十六年十月	六六六	一四〇、六四六	七〇〇、六五五	四八、四三八	二二四、四九六	三、四五四	三七、六七六	—	二	一一	七三七	五七	六六一
十一月	一、三五八	一三六、五七九	六八九、一四四	一〇三、六三三	九三三、六八一	一〇、〇九九	四〇、一〇五	—	—	二七	一、二五五	八八〇	一、〇九二
十二月	九三二	八五、六〇〇	四三三、〇三三	五四、二五六	二三三、一五九	九、三〇三	一一、二四六	—	—	七	四三八	五一	六四六
三十六年一月	五三三	三〇、八五五	一四七、六七二	一六、五一	六八、七九四	一、八〇四	二八、四四五	—	—	—	一八〇	二二六	二四〇
二月	一、二五七	六九、三七八	三五八、七〇〇	四八、八八七	一九六、八五九	四、六九八	九〇、五二九	—	—	—	五八五	六七	六六八
三月	一、五九二	九六、四七四	五〇一、三三六	七三、五五九	三七五、四〇〇	五、六一〇	一一六、六四	—	—	—	六七七	八八七	九四九
四月	三三五	二六、六四五	一三二、八六二	一四、九七四	五七、〇〇四	九五二	二四、九一〇	—	—	—	一〇七	一八一	一七八
五月	六七六	六三八、五五二	一、二七七、〇三六	四六、七六一	一五三、六四五	四、七五七	六四、一五八	—	二	—	七四三	五二	五三五
六月	一、〇三三	一七五、四九六	八〇三、八〇六	一六〇、四二二	五九五、四二九	五、六八二	一九、五二八	—	一	九	二、五〇七	一、三五〇	一、三八八
七月	一、一七〇	二四三、五九二	一、〇〇二、〇六七	二二九、三三六	七六六、三二六	六、六四六	三八、三四	—	—	二	三、五三一	一、五六四	二、四二五
八月	一、一八八	一八九、七二二	八一五、五五八	一六九、九五七	六二、六四三	二、八六三	一六九、六八二	—	—	四	三、五三二	一、三四	一、一三三
九月	一、〇九三	一三七、八一	六五、九九九	一二〇、七四四	四五三、四三三	三、八五五	一四九、六九三	—	二	五	二、二五四	九六七	八七二
合計	二一、八〇二	三、九一、八三七	七、四七六、七六二	一、〇七七、三八七	四、七〇四、三四九	八、七三二、二四二	九、九一〇	三	七	六五	一、一六、五四六	九、五七五	一〇、七八五

神奈川縣郡部健康診斷表

(原著)

年月日	町村		全上		中		ノ不在ニテ		検査ニヨリ		ノ不在ニテ		
	檢診	數	檢診ヲ要スヘキ	檢診ヲ行ヒタル	檢診セサル	檢診ニヨリ發見シタル患者	疑似	注意	普通	醫師	巡查	醫師	巡查
三十五年十月	二	四	六九	四	六九	一	一	一	一	一	二	二	二
十一月	一〇四	二五〇	四、〇九二	一、三〇八	九、一八五	一五〇	一	一	一四八	一三六	一	一三六	一四〇
十二月	二二九	二、七五七	一六、六九	三、五〇〇	一七、九三四	一八七	一	一	二三三	一五七	一	一五七	二八
三十六年一月	七	一、六二〇	九、九〇七	一、五三三	九、二〇六	四六	一	一	六四	二二	一	二二	一〇五
二月	八二	三、〇〇〇	一五、三三二	二、六二五	一三、三〇一	六三	一	一	四四	八七	一	八七	八八
三月	三五	八、二八一	三七、六〇九	四、二三三	一八、五七〇	八三	一	一	四四	六一	一	六一	六〇
四月	一三	三、九九六	一七、一三七	一、七七七	六、七六一	三六	一	一	三三	一四	一	一四	一四
五月	九	二、三四三	一〇、六六〇	九四	三、七二五	一八	一	一	一六	九	一	九	九
六月	一六	二、九四四	一三、二四八	一、六二二	六、七〇九	九一	一	一	三七	一七	一	一七	一五
七月	二四	三、〇五二	一二、九八〇	一、二二六	四、六六五	三〇	一	一	三六	二四	一	二四	二二
八月	一七	一、二三九	五、三三〇	五三三	二、三九四	三	一	一	一六	一八	一	一八	一一
九月	五三	三、七八	一七、四七〇	二、六八六	一二、〇三四	八五〇	一	一	三六	五三	一	五三	三六
合計	六〇九	三三、一七三	一六〇、四五三	二二、八四一	一〇三、五四三	一、五五七	一〇、九六三	四	六九七	二九九	五三二	二九九	五三二

神奈川縣消毒清潔方法施行成績表

第十會雜誌第三十號

年月日	戶數	倉庫數	納屋數	船舶數	其他
三十五年十一月	四、〇〇九	一	五		
三十五年十二月	六、八九	四三	一、三〇一		
三十六年一月	四、九六一	三六三	一、二七		
二月	二、三三	三〇六	二、〇三		
三月	六、八〇三	二八〇	四六二		
四月	六、六三	一九六	一〇六		
五月	三八七	三	一一		
六月	四〇一	一〇	一五		
七月	五、三七	五五	一九七		
八月	三九二	三	一三		
九月	四三、三〇五	二、一九七	二、六五四		
合計	八一、八六〇	三、九〇一	七、九三九		

